

# 健康科学（スポーツテーピング実践）

科目責任者 村山晴夫

学年・学期 1学年・1学期

## I. 前 文

本講義は、スポーツ外傷と応急処置に焦点をあて、スポーツテーピング（実技）を通して医学に触れるとともに健康の維持・向上の重要性を科学的視点から学習する。

※実習を伴う講義のため、受講者数の上限を6名とする。

## II. 担当教員

准教授 村山晴夫 基盤教育部門

## III. 一般学習目標

“健康”を科学的視点で捉え、健康維持・向上に関する知識を深めるとともに、自分自身が適切かつ積極的な行動変容を実践できる能力を養う。

## IV. 学修の到達目標

- 1) スポーツ外傷について理解する。
- 2) 応急処置法について理解し、その方法を習得する。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション

6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	5	13	水	5	スポーツ外傷と応急処置（理論）	村山晴夫	2
2		20	水	5	スポーツテーピング（基礎）	〃	6 実技
3		27	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の基本）	〃	6 実技
4	6	3	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の基本）	〃	6 実技
5		10	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の応用）	〃	6 実技
6		17	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の応用）	〃	6 実技
7		17	水	6	総合復習（まとめ）	〃	6 実技

## VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。( ) 内は評価の割合。

学習に対する姿勢・態度 (60%), 課題（ミニレポート等）(40%)

## VII. 教科書・参考図書・AV資料

- 1) 必要な資料等は適宜指示する。

2) タブレット型もしくはノート型パソコンを使用します。

VIII. 質問への対応方法

随時, 受け付ける (E-mail:hmurayam@dokkyomed.ac.jp)。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養, 利他の精神, 医師に求められる品格を身につけ, 豊かな人間性を育み, 他の医療者と協調して, 多様な価値観を尊重する全人的な医療を实践できる	○
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び, 情報・科学技術を活用して, 生涯にわたって自ら問題を発見し, 解決することができる	◎
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と, その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し, 課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み, 医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

適宜, 必要に応じてフィードバックする (LMS, 紙媒体等にて)。

XI. 求められる事前学習, 事後学習およびそれに必要な時間

事前学習 (20分): 各授業時の内容に関する情報を収集し概観する。

事後学習 (20分): 各授業時の内容から学んだことや思考したことを200文字程度にまとめ当日中に提出 (LMS)。

XII. コアカリ記号・番号

PS-02-05-01, S-03-03-04, CM-01-01-01, CM-01-01-02